

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2017～2018年度 国際ロータリー イアン H.S. ライズリー 会長テーマ

ROTARY : MAKING A DIFFERENCE ロータリー : 変化をもたらす

創立 1954年 3月 8日
承認 1954年 3月 30日例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 吉原 孝彦
幹事 出口 達也
会報委員長 佐野 彰彦

第2996回例会プログラム

[当年度=22回目; 当月=4週目]

2018年(平成30年) 1月22日(月)

1. 例会……………〈司会:プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……〈会長〉
3. 開会宣言
4. ロータリーソング斉唱……日も風も星も
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
6. 食事

- 12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告
8. お祝い

(誕生日祝・結婚記念日祝・入会記念日祝)

9. 幹事報告
10. 出席報告
11. 委員会報告
12. ニコニコボックス報告
13. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(1/29) ……

卓話 「まちづくりプランの取組状況」

講師 刈谷市長 竹中 良則 様

(紹介者 神野 公秀 会員)

※第2四半期皆出席の発表(出席委員会)

(2/5) ……

卓話 「愛知教育大学の地域連携の

現状と課題」

講師 国立大学法人愛知教育大学

副学長 西淵 茂男 様

(紹介者 丹羽 克誌 会員)

2. クラブフォーラム……………〈研修情報委員会〉

- 13:00 卓話 「ロータリーの柔軟性と多様性」
講師 地区研修委員会委員 加藤 真治 様
(紹介者 伊藤 節夫 会員)

14. 謝辞

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

15. 点鐘……〈会長〉

16. 閉会宣言

13:30 17. 散会

ビ ジ タ ー

札幌東 RC 矢橋潤一郎 様

出 席

会員総数 96名 出席免除 25名
出席義務者+免除者の内例会出席者 87名
欠席 12名 出席率 86.21%
前々回(12/21)の修正出席率 100%

会 長 報 告

- 1) 1月9日刈谷警察署からの感謝状贈呈式に行っ
て感謝状を頂いて参りました。
2) ラオスで行ないました地区国際奉仕、社会奉仕
事業で当クラブ市川国際奉仕委員長が参加され、
奉仕事業の感謝状をヒンフープ郡長ウドン・ボン
サバット様より頂きました。
3) オイスカ愛知支部会長杉浦正行様より、設立50
周年に対し、感謝状を頂きました。
4) 嶋津孝久会員に、第14回米山功労者の感謝状が
届きました。



5) 1月20日土曜日、豊田カントリー倶楽部にて、1月のゴルフ例会が開催されました。今回はダブルペリアで行ないグロス81、ネット71.4にて小野会員が優勝されました。

幹事報告

1) 1月1日よりロータリー財団のロータリーレートは114円になりました。

会長あいさつ

日本人の魚離れとイカ離れ

吉原 孝彦



日本の魚介類の摂取量は2001年ごろから減少の一途をたどり、2006年にはついに肉が逆転し、世界的にも1位から3位になりました。特に私も高度経済成長期に当たる昭和30年代から日本人の家族形態やライフスタイルが劇的に変化し「加齢効果」

が見られず、摂取量がこの10年間で32%も減少しているそうです。

今日の魚食低迷の要因として、次が推測されます。

①食生活の変化 食生活が簡易化&欧米化してきた。電子レンジなど調理家電が普及し始め、外食では洋食が流行りだした。②家族形態の変化 まずは「核家族化」、祖父母等と住まないから子供中心のメニューになり、魚料理を教わる機会も無くなりました。次に女性の社会進出で兼業主婦が増えた為、なるべく時短・簡単に済ませる方向になってきました。その他にも理由はありますが、よく食べられている魚もサケ・カツオ・サンマが増え、タラ・ヒラメなど白身魚は不人気となりました。そして鮮魚店も大減少しました。鮮魚店の減少と家族構成の変化により季節の魚を無駄なく食べる知恵が失われつつあります。

魚離れの影響で、箸がうまく使えない子供が増えています。骨があり皮のある魚の身をきれいに食べ尽くすことを躰として教えられなくなったからだそうです。

平成25年に実施したモニターでは、魚を食べるメリットとして、①健康的②季節感を感じることが出来る。デメリットとして、①魚のメニューを思い浮かべてもレパートリーが少ない②肉に比べ割高感がある③生ごみが発生しやすい④日持ちがしない。小売りの方にも生ごみ問題は認識されていて、「ゴミ日の前日は鮮魚の売り上げがアップする」そうです。

次にイカです。購入量で一番だったイカが2016年に4位に転落しました。原因として一つは「レジームシフト」の影響を受けやすいというものがありますが、もう一つ

高齢化があります。老人向けの宅配弁当業者の話で、「弁当価格が一律同じでも、おかずにイカを入れるとたちまち売れ残る」そうです。高齢化による咀嚼能力の低下から敬遠されるようです。

魚は栄養バランスの良い食べ物です。魚の脂肪量が増加しても、それに伴ってオメガ3脂肪酸が増加するため、安心して食べられます。

お祝い

1月の会員の誕生日…神谷光義、原田光二、橋典子、岡本巧、兵藤文男、小川耕示、市川紀征、高橋満典会員。

配偶者の誕生日…坂貞子(茂)、杉山恵美子(欣輝)、原田トモ子(光二)、杉浦眞佐子(世志朗)、小野みどり(雄司)、鈴木ゆかり(文三郎)、小澤敏子(陽一)、堀田みゆき(昌義)、石川将典(友美)、新海好美(伸二)、玉川ひとみ(愛朗)、中川久子(耕児)様。

結婚記念日…池田憲司、加藤哲也、杉浦芳一、角谷広高、市川紀征、吉岡秀記会員。

1月度入会記念日…杉浦世志朗、鈴木文三郎、下谷敏朗、加藤大志朗会員。

傘寿のお祝い



神谷 光義 会員

銀婚式のお祝い



市川 紀征 会員

「ロータリーの柔軟性と多様性」

地区研修委員会委員

加藤 真治 様



地区の研修委員会は、近藤雄亮パ
ストガバナーが委員長を務める委員
会です。その役割は3月に開催され
るPETSと4月の地区研修協議会
をどのように運営するかを検討し、
方向性を決めるものです。PETSと
は、地区内の会長エレクトに国際

ロータリーの会長エレクトのテーマや方針を伝えると共に、ガバナーエレクト自身の地区方針を伝えるものです。

研修実行委員会は、会長エレクトにRLI（ロータリーリーダーシップ研究会）方式で、3日間でそれぞれ6つのセッションに参加していただき、議論するなかで、ロータリーや各クラブが行っている奉仕事業などについて知っていただくという委員会です。

それでは、本題の「ロータリーの柔軟性と多様性」についてお話しします。これは昨年9月9日に開催された地区指導者育成セミナーにおいて第2ゾーンロータリー公共イメージコーディネーターの渡辺治夫氏の1時間の講演を要約したものです。

まずは「クラブ運営の柔軟性」です。ロータリーの根本は一つ一つの「クラブ」であります。全世界35,696の「クラブ」があってこそそのロータリーであり、ロータリーの全ては「クラブ」から始まっています。そのクラブの運営について、2016年4月に開催された規定審議会で大幅な柔軟性を認める決定がなされました。

一つは例会の頻度、形式、出席に関する柔軟性では、少なくとも月2回例会を行えば、奉仕プロジェクトまたは社交行事を例会とみなす。またオンラインでの例会を認めることです。

2つ目は、会員に関する柔軟性です。「クラブは、善良さ、高潔さ、リーダーシップを身をもって示し、職業上およびまたは地域社会でよい評判を受けており、地域社会およびまたは世界において奉仕する意欲のある成人によって構成されるものとする。」と改正されました。この改正により、これまでは、RI細則と標準ロータリークラブ定款の規定で、「正会員」と「名誉会員」の2つの会員種類がありましたが、クラブ細則を修正することにより、クラブは地元のニーズに応じて新しい会員の種類、例えば準会員、法人会員、家族会員など新しい会員の種類を自由に決めることができるようになりました。

これにより、それぞれのクラブが求める多様な年齢層、多様な職業、多様な背景を持つ人々を会員とすることができるようになりました。

平成30年1月20日(土)

於：豊田カントリー倶楽部

成績	氏名	G	H	N
優勝	小野 雄司	81	9.6	71.4
2位	盛田 豊一	78	7.2	70.8
3位	奥野 櫻子	85	13.2	71.8
B B	伊藤 節夫	99	16.8	82.2

